

# 中高一貫だより

<編集・発行>  
えりも地区連携型  
中高一貫教育

中高一貫教育として、今年度のえりも中学校で取り組む内容について、お知らせします。

## 環境フィールド学習

『百人浜に学ぶ』

6月11日(月)3・4時間目に日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の瓜田元美氏を講師に招き、百人浜緑化事業の歴史について学習しました。また、6月18日(月)に百人浜で植樹を行いました。今回は講演を聞いた子どもたちの感想と、実際に植樹体験をした子どもたちの感想を一部紹介します。

### 1年A組 上野 響己

#### 「百人浜に学ぶ」講演を聞いて

僕が今回の講演会で一番驚いたのは、えりもの緑化がまだ3分の1程度しか終わっていないことです。えりも岬に行ったとき確かに木は少ないなとは思っていましたが三分の一も残っているとは思いませんでした。

理科、社会ではそれぞれ森の大切さと飯田常雄さんや他の漁師の方々の思いを学びました。そして今回の講演会では緑化の方法などを学びました。その三つを重ねて考えると昔の漁師の方々の苦勞がすごいものだったということが良く分かります。

僕も将来は漁師をやろうと思っていて、今までは海の魚やその採り方を知ろうとしていましたが、これからは森のことについてもしっかりと学び、えりもの豊かな海をこれからも残していけたらいいと思います。

### 1年A組 佐々木 穂貴

#### 「百人浜に学ぶ」講演を聞いて

私は、瓜田元美さんの話を聞いて思ったことがあります。昔のえりもは砂漠で、ご飯を食べるとき、新聞を上に乗せて、家にまで砂が入ってきて、大変だったことがわかりました。

えりもは砂漠から森林になるまで飯田常雄さんたちが、一生懸命に種や枝を植えてその上にゴダをのせていたことがわかりました。

そして、砂漠から森林になるまで50年、いろいろな苦勞をして、今のえりもができて、海がきれいになっていることがわかりました。今日の講演会を聞いて、これからは森を大切にしていこうと思いました。

### 1年A組 横山 萌

#### 植樹体験を終えて

私は、植樹体験をする前にカミネッコンというダンボールで作る六角形のものを組み立ててから植樹場所の百人浜に行きました。植樹は今まで何度かやってきたのですが、カミネッコンという物使って植えるのは初めてだったので少しだけワクワクしていました。このカミネッコンは年が経つと土に戻るダンボールで出来ている自然にやさしい植木鉢なのです。

そして、その植木鉢に土をつめ自分で作ったネームプレートを支につけ、少しだけ地面をほって植えました。

植樹体験をやってみて、これからも百人浜の森を大切にしていけたらなと思いました。それとこれから先もこの植樹体験が行われればいいなと思いました。



**1年A組 加藤 優希**植樹体験を終えて

植樹をしに行ったとき、最初にカミネッコンという物を作りました。自分は不器用なので、一個作るのにも大苦戦しました。しかも、2個作らければダメだったので2つ完成させるのにすごく時間がかかりました。完成した時はうれしかったです。

次に、木の苗を選びました。シラカバを2本選びました。実際にカミネッコンに入れてみると、すごく重くなって、運ぶのが大変でした。運び終わって、木の苗を土に植えました。

育つのが楽しみになりました。

**1年A組 岩間 幸誌朗**植樹を終えて

植樹では、貴重な体験をしました。まず、カミネッコンという物を作りました。作った後、百人泳に移動し植樹する会場に行きました。もともとこの場所が砂漠だった・・・と考えると、「緑が増えたな～」と思います。僕はシラカバの木を植えました。「良い木になれ！」と思いながら植えました。これで僕は、人生で三回木を植えました。もっと木を植えてこの町をもっと緑に染めていきたいです。今回協力してくれた、関係者の皆さんに感謝しています。このような貴重な体験ができて嬉しかったです。

**職業別ガイダンス開催**

8月22日(水)5・6時間目に、えりも高校において職業別ガイダンスを開催しました。対象はえりも中学校3学年とえりも高校全学年で、合計131名が参加しました。事前に受講するテーマを2つ選び、当日2回に分けて学びました。受講後の感想を紹介します。

中野桃子さん(えりも高校3年生)「今回“看護”へ参加させていただきましたが、今まで行った中でも一番印象に残るものとなりました。人体模型を利用しながらの説明もしていただき、自らも体験することができました。器官の仕組みについて知ることもでき、楽しかったです。この職業別ガイダンスを通してより進路実現に向けて頑張りたいです。」  
石川淳基さん(えりも高校3年生)「今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。私はまだ進路等将来のことは定まってはいないのですが、今回聞いた教育の話、情報の話を参考に決めていきたいと思います。実際に体験したりする時間もあり、楽しんで学ぶことができました。この体験をこれからの進路活動に活かしていきたいと思います。」

今回のガイダンスで、生徒たちは職業についての知識を得て、将来のことを真剣に考える機会となりました。各大学や専門学校の方、警察や自衛隊の方、ハローワークの方、沢山の方々に協力をいただきました。ありがとうございました。

